

（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画策定にかかるアンケートの集計結果について

令和7年度の「（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画」の策定に向け、図書館の利用実態及び読書環境の把握等を行うべく、アンケートを実施した。

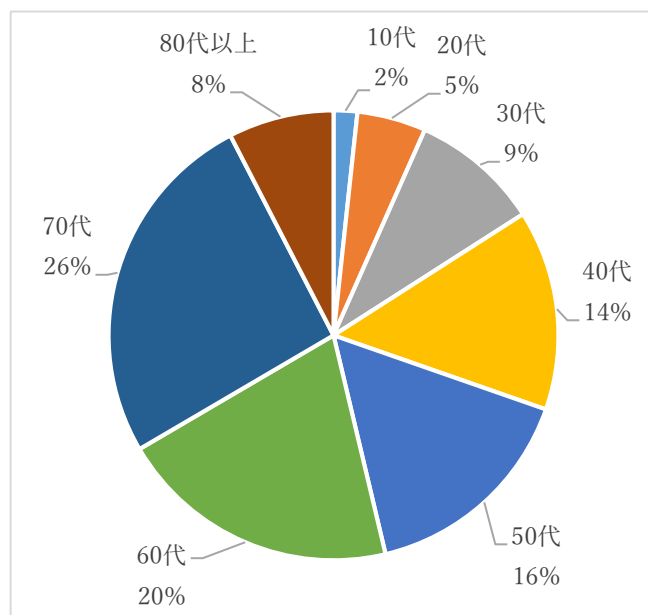
1 アンケートの実施概要

- ①実施期間 令和6年3月1日（金）～3月31日（日）
- ②調査対象 一般向け（中学生以上）
※小学生や児童については、別でアンケートを実施。
- ③配布・回収方法
 - ・Logo フォームによるインターネット上の専用フォームでの回答
 - アンケート広報用ポスター・チラシにQRコードを掲載
 - ・アンケート用紙（A3二つ折りサイズ）の回収
- ④配布・回収場所
 - ・市内各図書館（全7館・行政資料室）
 - ・市役所1階ロビー
 - ・諏訪老人福祉館
 - ・二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ
 - ・関戸、永山公民館
 - ・多摩市立市民活動交流センター
 - ・市内コミュニティセンター（ひじり館・唐木田菖蒲館を除く）
 - その他東寺方老人福祉館のイベント実施時にアンケート配付
- ⑤配付枚数 紙アンケート 1,300 枚
- ⑥回収枚数 紙 379 枚・WEB 279 件 計 658 件
- ⑦回収率（紙） 29.2%

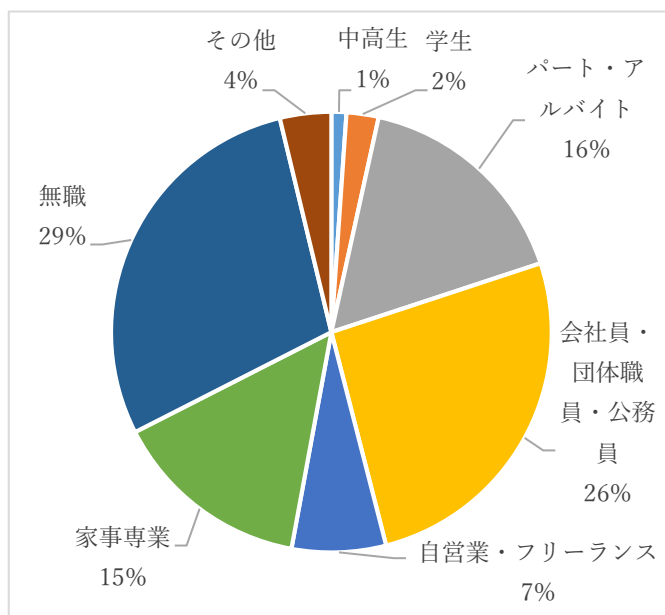
2 アンケートの集計結果

①アンケートの回答者について

(1)年代

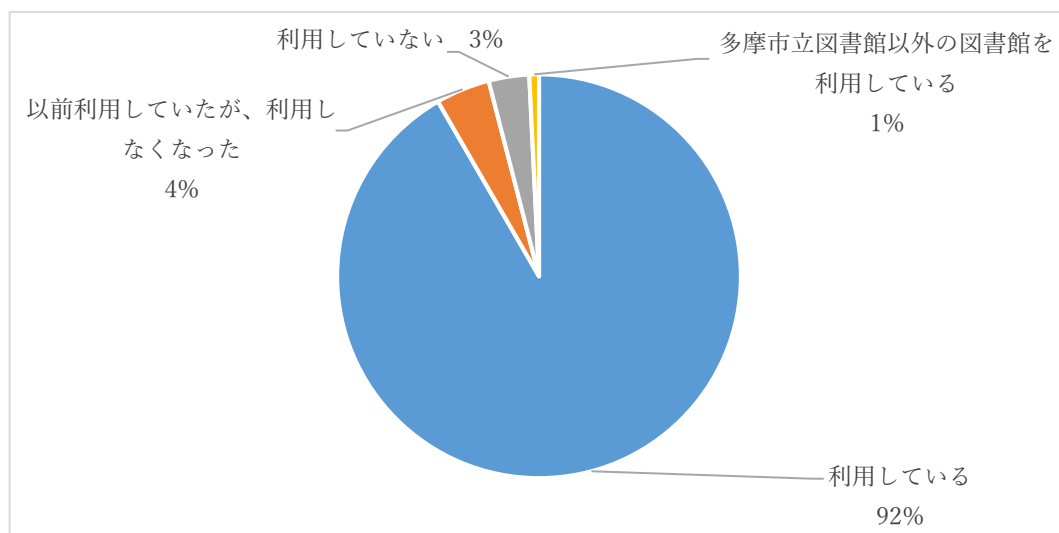


(1)-2 職業

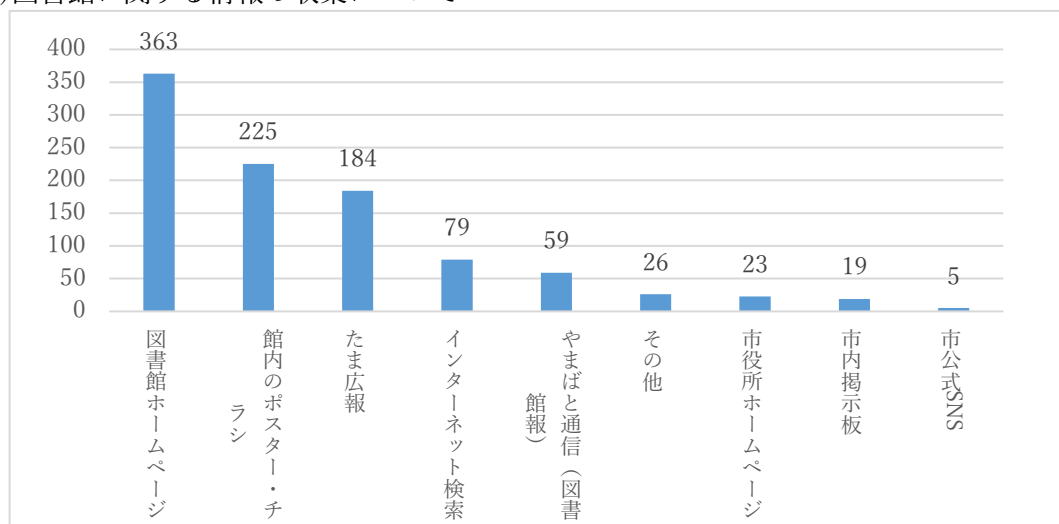


60代・70代・80代以上の回答者で半数を超える54%の回答を得た。中央図書館の開館により、中高生の利用が増えているものの、アンケートの回答については、2%とかなり低い結果となった。

(2)図書館の利用状況について

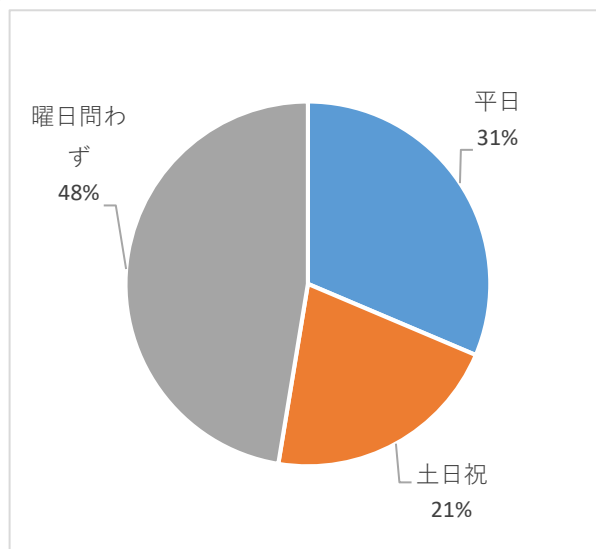


(3)図書館に関する情報の収集について

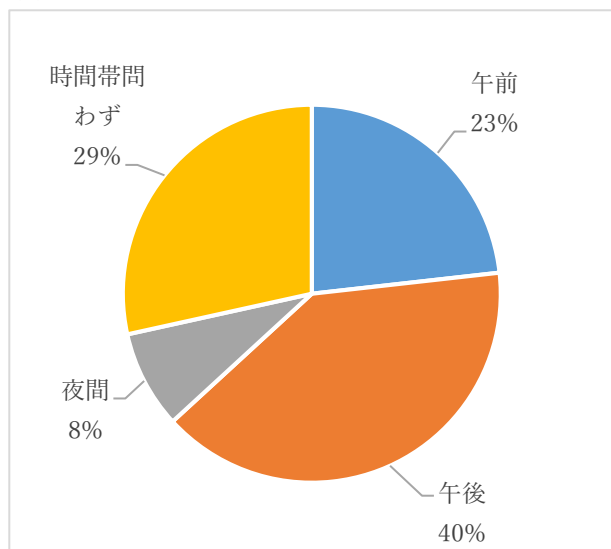


図書館に関する情報の収集について、図書館ホームページや図書館内の掲示(チラシ・ポスター)で収集している人が、多かった。特に図書館ホームページから情報を得る方は、アンケート回答者の半数以上である 363 人であった。

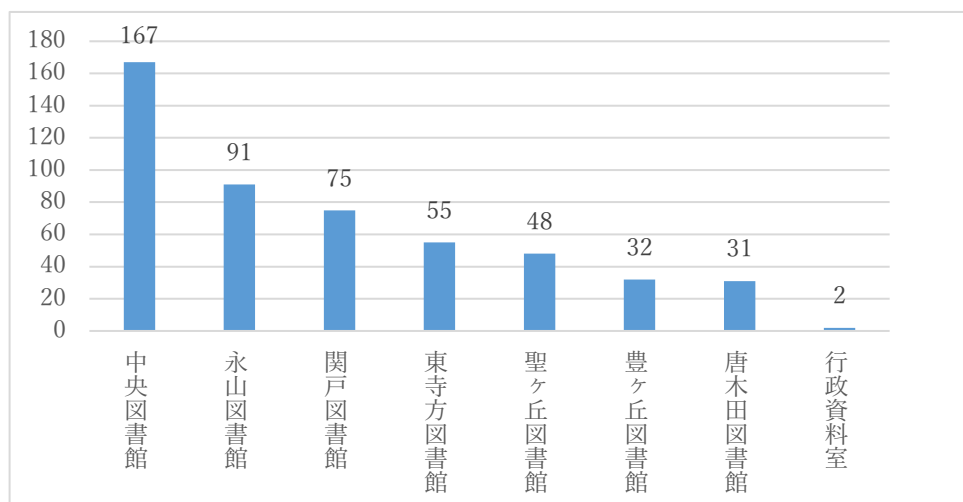
(4)主に利用する曜日



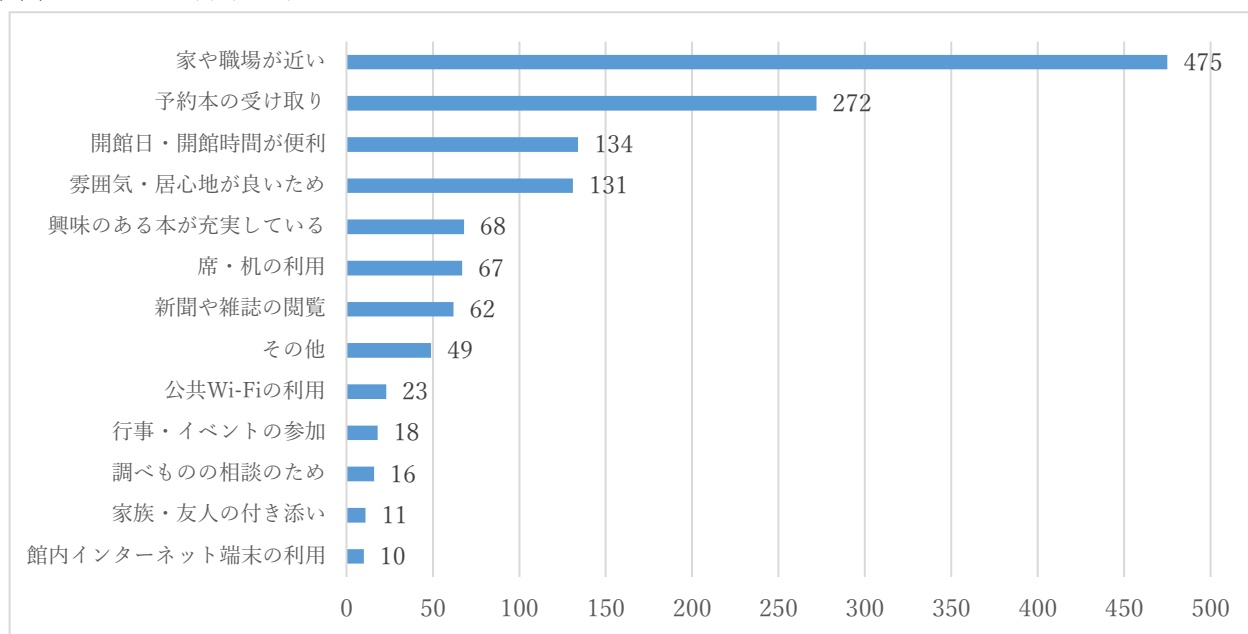
(4)-1 主に利用する時間帯



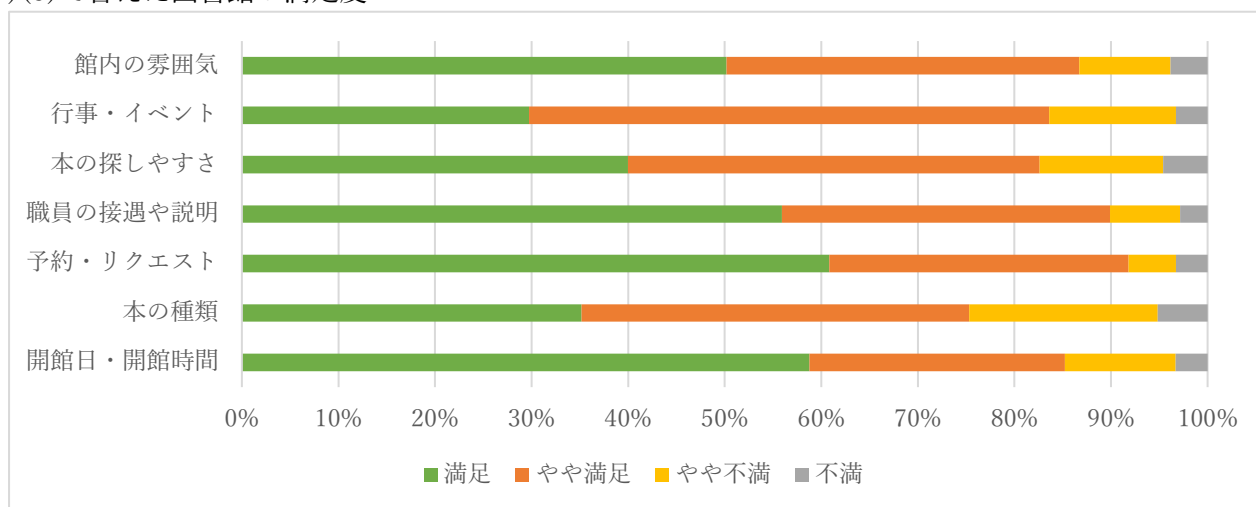
(5)最もよく行く図書館



(6)(5)で選んだ図書館に来る理由



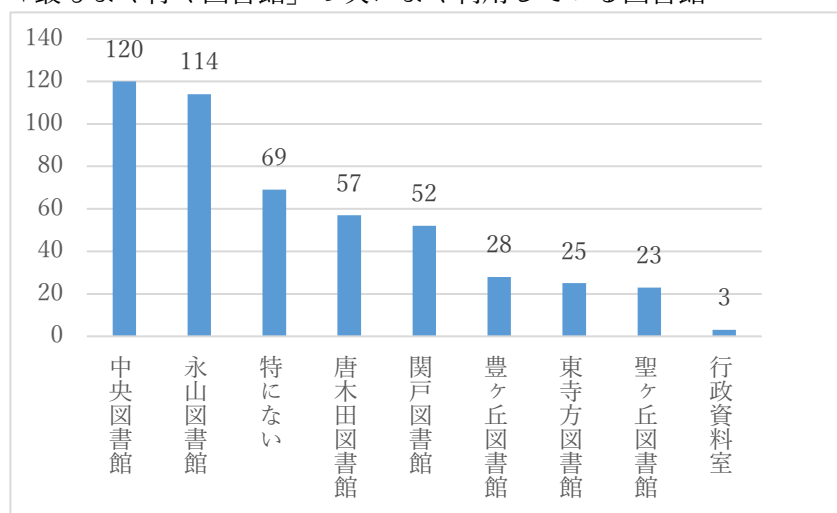
(7)(5)で答えた図書館の満足度



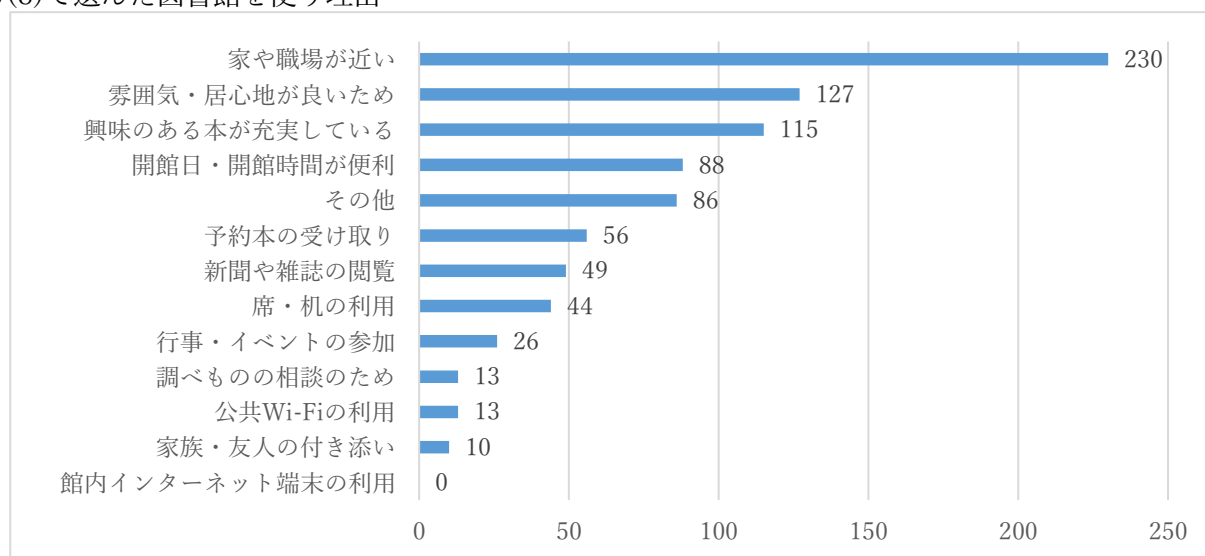
最も利用している図書館については、中央・拠点館の3館が多い結果となった。

満足度について「本の種類」以外は、満足度が80%を超える結果となった。(やや満足までの数値)

(8)「最もよく行く図書館」の次によく利用している図書館

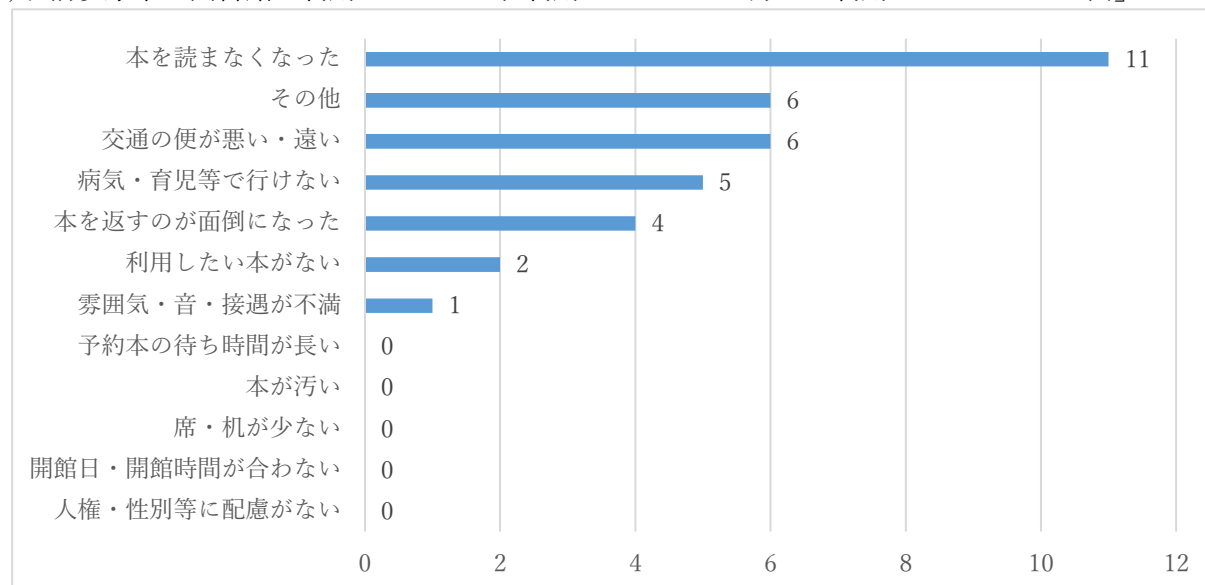


(9)(8)で選んだ図書館を使う理由

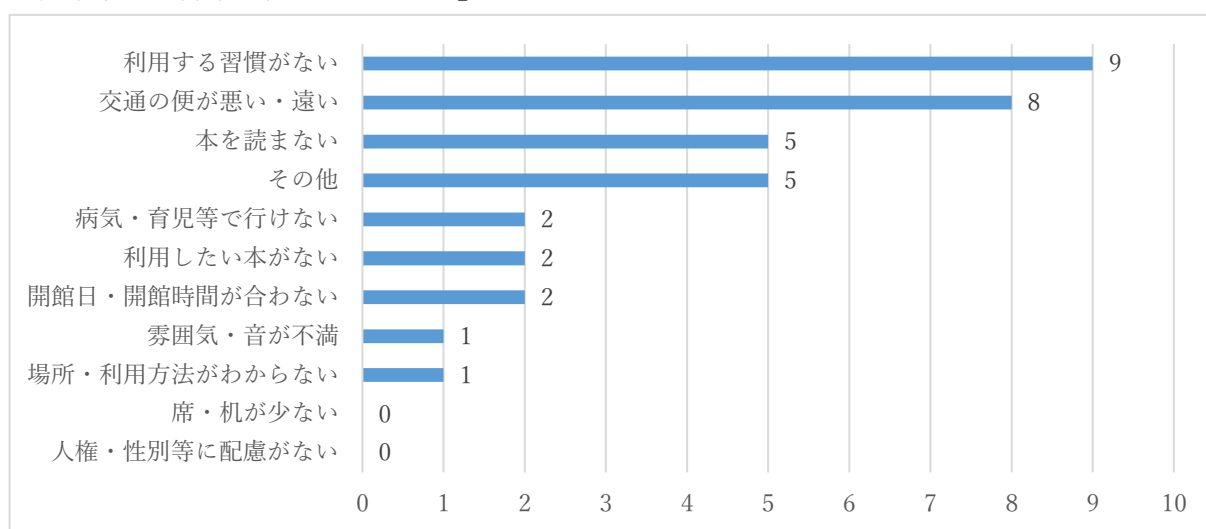


(6)最も行く図書館を使う理由の4位「雰囲気・居心地が良いため」5位「興味のある本が充実している」が2位と3位という結果となった。

(10)以前多摩市立図書館を利用していたが、利用しなくなった方へ「利用しなくなった理由」

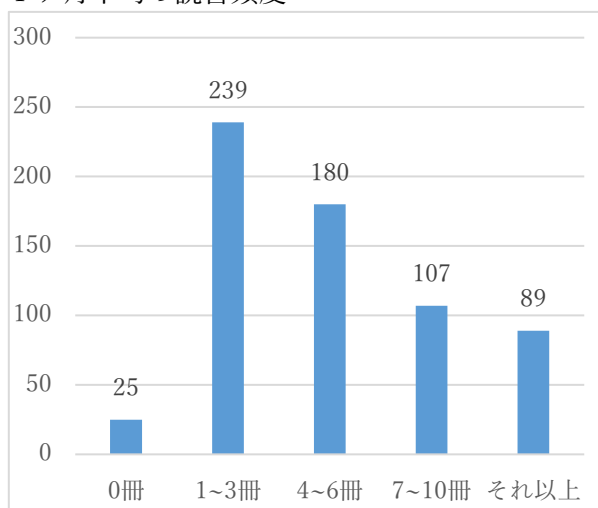


(11) 多摩市立図書館を利用していない・多摩市立図書館以外の図書館を利用している方へ
「多摩市立図書館を利用しない理由」

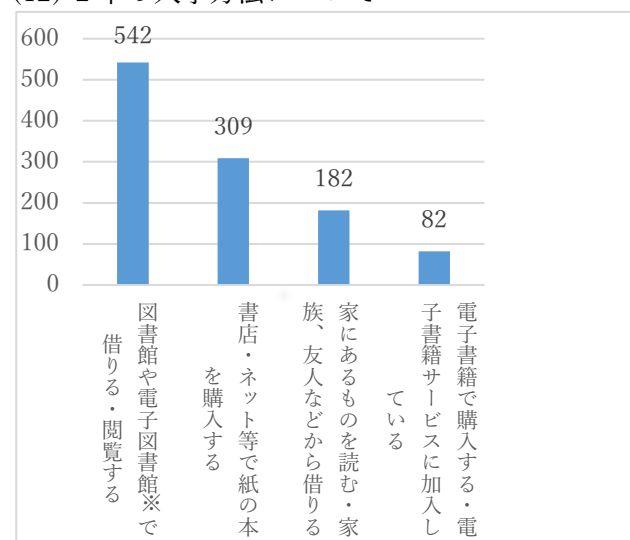


(12) 普段の読書環境について

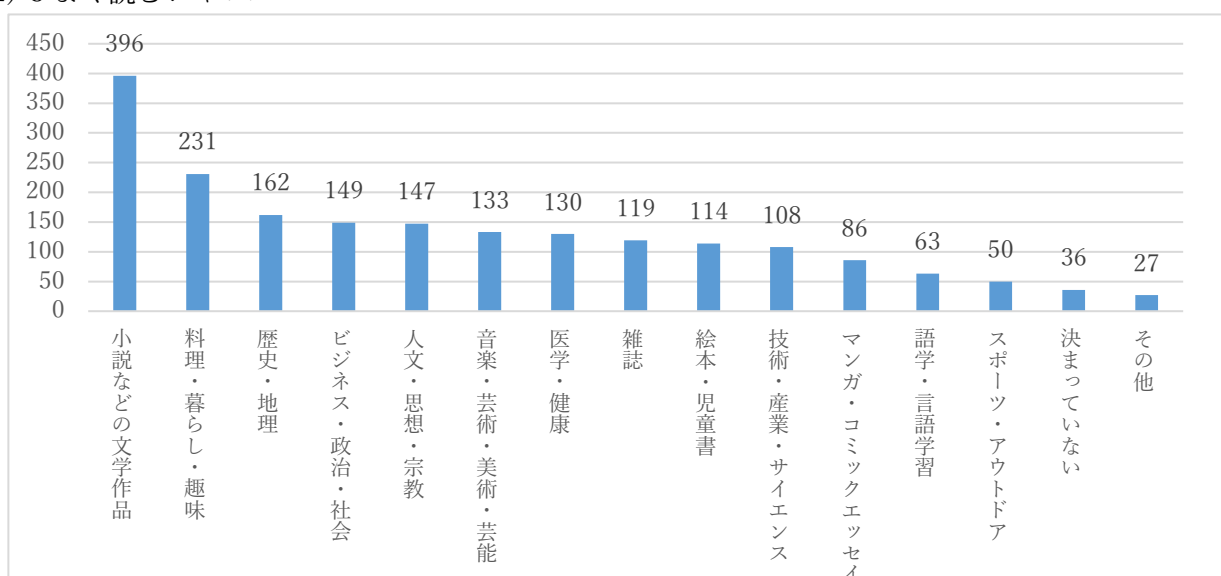
1ヶ月平均の読書頻度



(12)-2 本の入手方法について

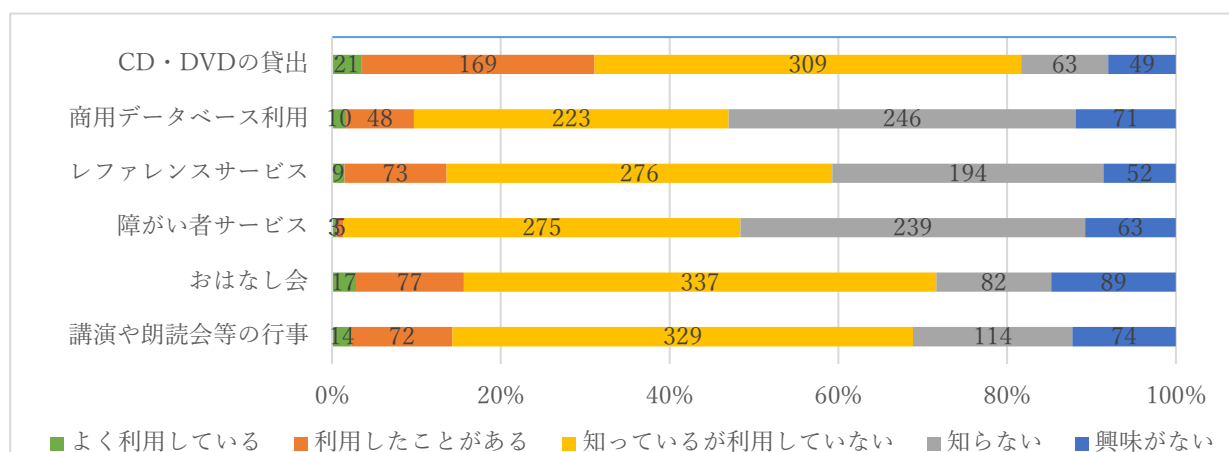


(12)-3 よく読むジャンル



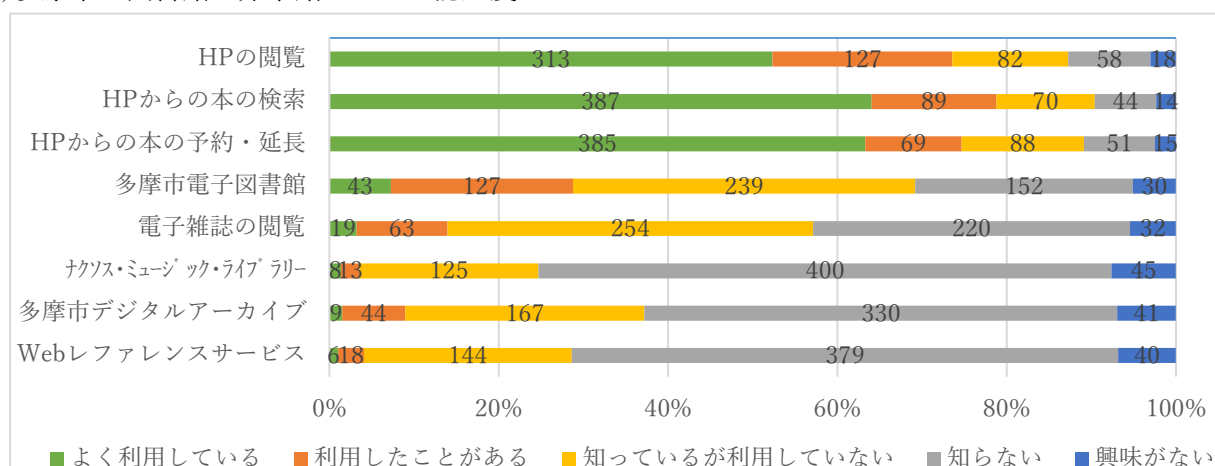
よく読むジャンルでは、1位の「小説などの文学作品」が20%を超え、2位・3位の合計よりも多い結果となった。

(13)多摩市立図書館のサービス認知度



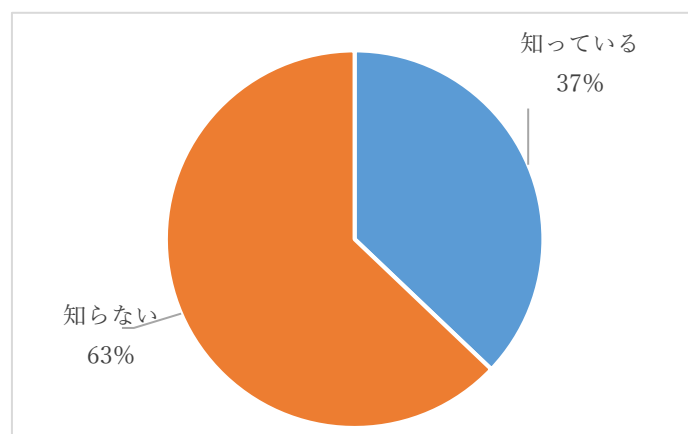
商用データベースやレファレンスサービスの認知度が低く、「知らない」「興味がない」が40%を超える結果となった。
おはなし会や行事については「知っているが利用していない」が50%を超えており、認知しているが参加に至っていない層がいることがわかった。

(14)多摩市立図書館の非来館サービス認知度

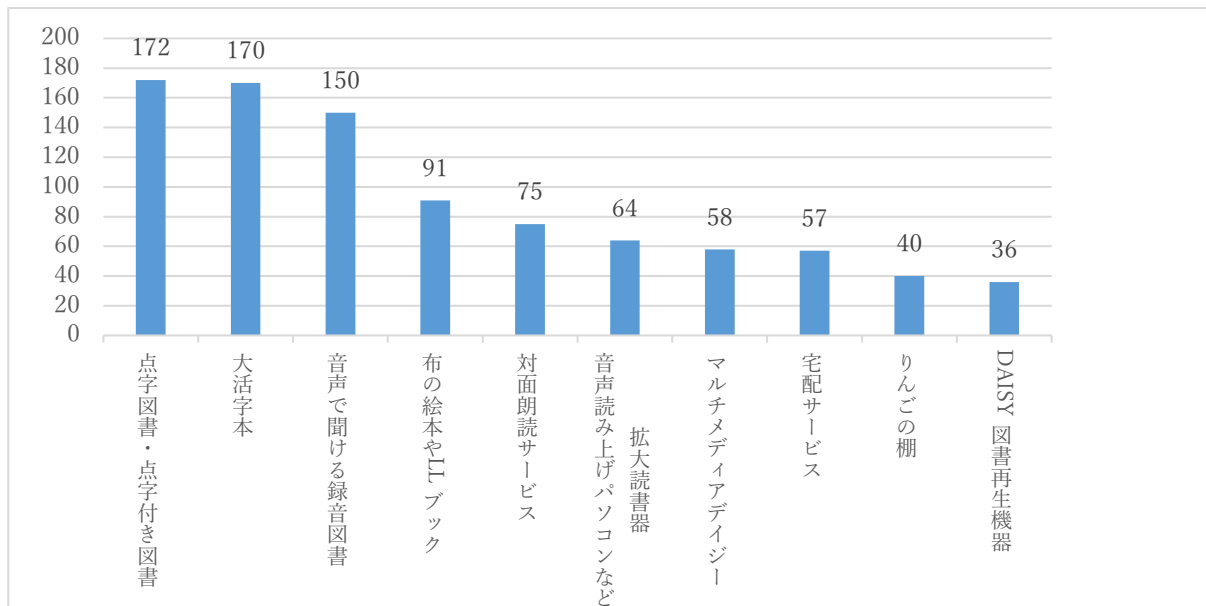


ホームページ関連については「よく利用している」「利用したことがある」が70%を超える結果となったが、それ以外については「知らない」「興味がない」が30%以上となった。
特にナクス・ミュージックライブラリー、多摩市デジタルアーカイブ、Webレファレンスサービスについては60%以上が「知らない」「興味がない」結果となったため、今後より効果的な広報を行っていく必要があると感じる。
全体を通して「興味がない」については全て10%以下であったため、サービス内容が伝わる広報ができれば利用率が上がることがわかった。

(15)障がい者サービスについての認知度

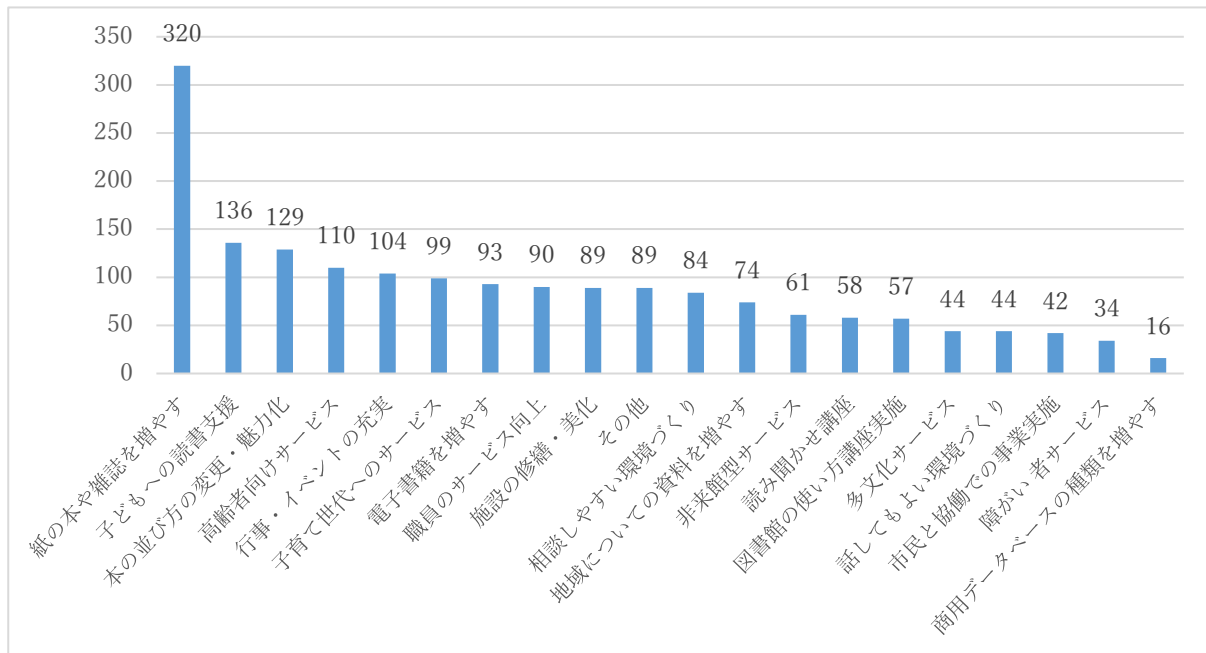


(16)知っている障がい者サービスについて



障がい者サービスについては知らない方が 60%を超えた。
特に DAISY 再生機器の貸出など、資料ではなく機器の貸出等は認知度が低い結果となった。
障がい者手帳などを持っていなくても、読書や来館に障がいがあれば誰でも利用できるサービスのため、今後は文言の変更も含めて検討する必要がある。

(17)今後多摩市立図書館に力を入れて取り組んでほしいものについて



「紙の本を増やす」が 18%で 1 位となった。子ども向けのサービスについても「子どもへの読書支援」「子育て世代へのサービス」の合計が 13%となり、関心が高いことが見受けられる。同様に「行事・イベントの充実」「読み聞かせ講座」「図書館の使い方講座実施」など、イベント関係も合計が 12%となった。
一方で商用データベースについては(13)でもあったように認知度も低く、取り組んでほしい事項としても優先度が低いことがわかった。